

平成 27 年 1 月 23 日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代表者名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号：4588)
問合せ先 常 務 取 締 役 六反田 靖
管 理 担 当
(TEL.03-5472-1578)

営業外費用、特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 1 月 23 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の動向を踏まえ、平成 26 年 4 月 14 日に公表した、平成 26 年 12 月期の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)
(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表 予想(A)	30~1,058	Δ1,145~Δ322	Δ1,029~Δ206	Δ1,031~Δ208	Δ112.27~Δ22.65
今回修正 予想(B)	28	Δ830	Δ722	Δ736	Δ80.28
増減額(B-A)	Δ2~Δ1,030	315~Δ508	307~Δ516	295~Δ528	
増減率(%)	Δ6.6~Δ97.3	-	-	-	
(ご参考) 前期 実績 (平成 25 年 12 月期)	1	Δ665	Δ625	Δ635	Δ94.33

2. 平成 26 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)
の理由

① 売上高の修正に関する理由

当社は、平成 26 年 12 月 1 日に開示しました通り OBP-1101 (テロメスキャン F35) の韓国における独占実施権を、WONIK CUBE Corp.に付与するライセンス契約を締結しました。また、平成 26 年 12 月期第 4 四半期には、医療機関からの受託検査 3 百万円及び検査薬の販売 4 百万円等が生じました。

一方、抗 HIV 感染症治療薬 OBP-601 のライセンス導出に向けた活動を行いましたが、平成 26 年中の OBP-601 の新たな提携契約の締結に至りませんでした。

その結果、従来通期売上高予想を 30 百万円～1,058 百万円で開示していましたが、28 百万円に予想値を変更しています。

なお、当社は OBP-601 の Phase IIb 臨床試験結果において、本剤の有効性と安全性が確認され、引き続き複数の製薬会社とのコンタクトを継続しています。

② 営業利益の修正に関する理由

当社は、平成 26 年 11 月 19 日に開示しました通り、OBP-301（テロメライシン）の韓国・台湾における肝細胞がん被験者への投与を開始しました。また、平成 26 年 12 月 22 日に開示しました通り、OBP-801 の Phase I 臨床試験を開始することにアメリカ食品医薬品局（FDA：Food and Drug Administration）から了解を得ました。上記の活動に伴い研究開発費用等を計上しましたが、3 本のパイプラインで臨床試験を実施できる体制を構築しています。一方、OBP-601 の新たな提携契約並びに新規パイプラインの導入契約に至らなかったため、OBP-601 に関する特許関連費用並びに新規導入契約の一時金費用及び研究開発費用が生じませんでした。

その結果、従来通期営業損失を 1,145 百万円～322 百万円で開示していましたが、通期営業損失 830 百万円に予想値を変更しています。

③ 経常利益及び当期純利益の修正に関する理由

当社は、営業外利益として Medigen Biotechnology Corp.（台湾）からのテロメライシンに係る受取研究開発負担金や OBP-801 に係る NEDO 及び OBP-1101 に係る JST 等からの助成金等が発生し、営業外収益 113 百万円の計上を見込んでいます。また、平成 26 年 12 月期第 4 四半期に営業外費用として支払利息 1 百万円が生じる見込みです。その結果、従来通期経常損失を 1,029 百万円～206 百万円で開示していましたが、通期経常損失 722 百万円に予想値を変更しています。

また、従来通期当期純損失を 1,031 百万円～208 百万円で開示していましたが、平成 26 年 12 月期第 4 四半期に事業所移転費用 2 百万円が特別損失として生じる見込みとなった結果、通期当期純損失 736 百万円に予想値を変更しています。

なお、従来一株当たり純損失を 112.27 円～22.65 円で開示していましたが、一株当たり純損失 80.28 円に予想値を変更しています。

3. 営業外費用の発生及びその内容

平成 26 年 12 月期第 4 四半期に銀行借入に伴う費用として、支払利息 1 百万円が生じる見込みとなりましたので、計上いたします。

4. 特別損失の発生及びその内容

平成 26 年 12 月期第 4 四半期に当社神戸検査センターの移転に伴う費用として、事業所移転費用 2 百万円が生じる見込みとなりましたので、計上いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上